

活動名	団体名	宇部市レクリエーション協会
宇部市レクリエーション協会 40周年記念 兼 あそびの城 10周年特別体験事業	地域	山口県宇部市
	代表者	会長 岡村 精二
	支援金額	20万円
活動概要	<p>文部科学省の放課後子ども教室事業としてスタートした「あそびの城うべ」事業は、10周年を迎えました。あそびの城では、例年、体育館等で体を動かすプログラムや、地域のイベント参加を中心にしていますが、自然の中での活動が少ない状態でした。</p> <p>今回、自然とふれあう体験をする特別プログラムを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイ・キャンプ(野外炊飯や、野外活動等) ・雪山でのネイチャーゲーム(もみの木森林公園) <p>◆実施時期 2014年10月25日(土) アクトビレッジおの(山口県宇部市小野) 2015年 1月31日(土) もみの木森林公園(広島県廿日市市吉和)</p> <p>◆参加人数 ・デイ・キャンプ(子ども:36名 保護者:6名) ・雪のネイチャーゲーム(子ども:35名 保護者:8名)</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:85名</p>	



そりあそび

山口県では、普段できないソリあそび。最初は曲がったり、転んだりと苦戦していましたが、何度もすべるうちに上手にコントロールできるようになりました。



雪のネイチャーゲーム

雪景色のフィールドの中にある、自然のものをビンゴ形式で見つけていく「フィールドびんご」。雪の中にも色々な自然を見つけっていました。



凧あげ

お正月には早いですが、凧を組み立てて凧あげに挑戦。街中では、できないあそびを満喫しました。



ピザ作り

小麦粉をこねて作った生地にトッピングしています。この後、釜で焼いたらできあがり。みんな上手にできました。

◆実施に伴う効果

普段は、体育館で活動しており、自然とふれあう事が無いので、従来と違うプログラムを組むことができました。
凧あげや、そりあそびなど、自然を相手にしてあそぶ活動を通して、子どもたちの体験の幅を広げることができました。
また、日頃は一緒に活動できない団体との共同活動ができ、今後の活動の為のネットワークの構築もできました。

◆苦労した点

- ・デイ・キャンプでは、施設の都合で、カヌー体験ができず、プログラム内容の変更が必要になりました。
- ・雪のネイチャーゲームでは、協力団体の事業スケジュールもあり、日程調整に苦労しました。
また、自然が相手なので、雪があるのか、また、現地へ行く道路事情はどうかと、当日を迎えるまで、不確定要素が多く直前まで、気をもむ毎日でした。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・「あそび城うべ」事業も10年を経過して、スタッフの確保が難しくなっている
参加者の負担をなるべく少なくする為に、一般スタッフは、ボランティアで行っており、新たなスタッフの勧誘も実施しているが、協力してくれる人が少ないのが現状です。
- ・宇部市における放課後子ども教室事業は、学童保育クラブを中心に、10年の間に全市へ広がっており、協会が直接に居場所事業を展開する意義が薄れているといえます。今後は、今まで培ってきた、プログラム資源を学童保育クラブの指導員への提供を行い人材育成事業を展開する事も検討中です。また、関係団体との共同事業を行う事で、事業を行う人材の確保行う予定です。

◆活動を終えての感想・意見等

「あそび城うべ」事業は、事業が始まった3年間は、国からの助成金があり、多彩なプログラムが展開できていました。
自主財源での活動へ移行後は、参加者の負担をあまり大きくできないので、交通費や経費の多くかかるプログラムはできない状態でした。
今回、助成を受けて、今まで封印していたプログラムを実施することができて、参加者した子どもたちは、たいへんよろんでいました。スタッフ一同感謝しています。